

「別冊」

令和元年度
事業報告書



自 平成31年 4月 1日
至 令和 2年 3月31日

社会福祉法人
やまゆり福祉会

元年度事業のまとめ

経営組織

社会福祉法が改正され、理事会は法人の業務執行の意思決定機関として、監事は理事の職務の執行監査など各種の権限が課せられるなど法人経営組織が強化され、令和元年度には、法改正後2回目となる理事及び幹事の選任が行われた。

役員の改選に当たっては、定款に基づき評議員会において法人運営に必要な見識を有する者を選任した。今年度は、結果的に全役員が再任となり、引き続き法人運営に関する役割を担った。

安定した法人経営

社会福祉法人にはより透明で公正な運営のほか、サービス及び職員の質の向上が求められている。計画的で適正かつ堅実な事業運営により健全な財政運営を展開してきたが、今年度は工事等臨時の経費が重なり次期繰越活動増減差額は前年度に比べ650万円のマイナスとなった。

この次期繰越活動増減差額は、当年度においては8億120万円が、施設設置後の経年に伴う設備等の劣化や機能低下に対応するための保全措置など、今後の継続的な負担が見込まれることから、更なるコスト削減を意識しつつ堅実な財政運営を進める必要がある。

決算の状況

(単位：円)

	元年度決算額	30年度決算額	増減額
経常収益(1)	670,569,860	675,528,683	△4,958,823
経常費用(2)	677,093,748	652,398,867	24,694,881
特別収益／繰越活動増(3)	35,440	0	35,440
特別費用／繰越活動減(4)	24,496	7,187,003	△7,162,507
収支差額 (5)=(1)-(2)+(3)-(4)	△6,512,944	15,942,813	△22,455,757
前期繰越活動増減差額 (6)	807,766,803	791,823,990	15,942,813
次期繰越活動増減差額 (7)=(5)+(6)	801,253,859	807,766,803	△6,512,944

利用者本位の生活支援

法人の経営理念と基本方針に基づき、利用者の人格を尊重し、利用者本位のサービスを提供するという基本方針に基づき、利用者などから信頼される施設運営のほか、利用者に喜ばれる行事等の実施に心がけた。しかし、今年度は一大行事である「やまゆり祭り」を台風 15 号の影響により中止とする残念な結果であったが、クリスマス会や一泊旅行等の他の行事は概ね実施出来た。

なお、元年度における個別支援計画は、例年通り前年度中に利用者及びご家族等立ち会いのもとに利用者主体となる支援計画を作成し生活支援を行った。

入所者の状況(各年度末人数)

区分	元年度	30 年度
男性	38	39
女性	38	39
合 計	76	78

健康管理

毎月、医師の訪問を受け、利用者の健康管理に努めているほか、年 2 回の健診やインフルエンザの予防接種など利用者の健康維持に努めた。また、手洗い等の励行により 2 年連続で利用者からインフルエンザの感染者を出すことがなかった。

しかし、インフルエンザ流行時に家族との面会禁止を今年度も実施したが、今年度末は特に、新型コロナウィルス感染症の影響により、利用者及びご家族の協力と理解のもと、面会禁止措置を継続せざるを得ない状況となった。

透明性の向上

今年度初めて短期入所の第三者評価を受審したほか、入所施設及び生活介護においては、13 年連続で第三者評価を受審し、閉鎖的と言われる福祉施設の透明性の向上及び公正かつ適切な施設運営についての評価を受けた。また、施設のホームページにおいて、法で求められている定款や財務諸表等の公表はもとより、規則や要綱等を掲載し法人運営のより積極的な情報提供に努めた。

なお、施設での虐待防止や苦情対応状況の取り組みを定期的に検証しているほか、第三者委員会に対しても取り組み状況を説明するなど、サービス提供における施設の姿勢等を明らかにし透明性の確保に努めた。

施設の保全

施設の経年に伴う設備等の老朽化に対し、延命策として計画的に修繕等を行うため、今年度は、「施設保全計画」を策定した。計画に基づき今年度は、安定した電力を供給するために高圧受変電設備(キュービクル)の交換工事や電話設備の更新工事を実施するなど、施設の機能低下を防止し設備の機能維持に努めた。

職員の確保と質の向上

慢性化しつつある人材不足に対応するため、職員の確保策としてチラシによる募集からハローワークの積極的な活用や教育実習生への声掛けなどをはじめ、前年度に設置した定着率向上委員会の報告をもとに職員が一丸となって人材確保に取り組むよう機会あるごとに周知を行ったほか、今年度は、就職準備金制度を創設し、求職者に対して当法人の魅力ある施策をPRした。新年度においては、4年ぶりに新卒者の確保ができた。

また、質の高いサービスを提供するため、施設独自の虐待防止研修やケース会を定期的に開催し、職員の資質向上に努めた。

新規常用職員採用数

元 年 度	30 年 度
4 名	0 名

人事考課の活用

職員の業務に対する取り組みの評価と連動した職位への昇任試験を今年度初めて実施し、意欲ある職員の育成と業務内容をより明確にした。また、昨年度創設した副主任試験に女性2名が合格した。

職位の分布状況（新年度の体制）

区 分	男	女	合 計
課 長	1	1	2
課 長 補 佐	1	1	2
係 長	1	2	3
主 任	3	1	4
副 主 任	2	2	4

給食業務委託先の変更と委託業務の拡大

令和2年度からの給食調理業務委託先の変更に向け、委託業務範囲を従前からの調理業務に食材調達を含めた業務へと拡大し、委託業者を募集した。業者選定の公正を担保するため説明会を開催し、更に、業者から企画書及び見積書の提出を求め、4社からヒヤリングを行った。その結果、新たな提案内容があった市内業者と業務委託契約を締結し、安定した給食業務の実施に向け取り組んだ。

選考の経過

対象業者数	説明会参加業者数	応募及びヒヤリング実施業者数	決定業者
15社	9社(うち5社が辞退)	4社	1社

消費税の対応

10月から消費税が改定となり、食料品等については、初めて軽減税率が適用となった。ふっくら亭における消費税の対応として、利用者の混乱防止策のため、販売価格を店内飲食と持ち帰りとが同一額となるよう価格設定をした。また、消費税の改定に伴うキャッシュレス化の対応については、地域性を考慮して従前同様に現金での対応のみとすることとした。

資金運用の変更

円高による為替相場の変動に伴い、運用中の外国債権1件が証券会社からコールがかかった。また、豪ドルでの債権運用利息が円高の影響で配当が「0」円となり、今後も利息の運用による収益が見込めないことから、満期を待たずに途中解約を行い、資金運用利率が高く、運用期間が短い債権へと資金運用先を変更して資金の効率的な運用に努めた。

資金運用状況

年 度	運用資産の状況	運用利息
元年度	債権1億円×3件 債権5千万円×1件 コール1件、解約1件	5,809千円 ※途中解約に伴う 評価損480万円

30年度	債権1億円×3件 債権5千万円×1件	6,376千円
------	-----------------------	---------

社会福祉充実計画

平成29年度からの5か年にわたる社会福祉充実計画に基づく「高齢者棟」の整備に関し、元年度7月には東京都による「廃川告示」が行われ、告示後の10か月の法定管理期間に入り、用地取得に向け動きだした。また、高齢者棟用地の造成に向け、造成工事設計委託契約を締結し、地質調査(ボーリング)を行ったほか、施設整備に関する官公庁との手続きに関する協議に着手した。

各年度の事業計画

実施年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度
実施内容	東京都・ 八王子市 との調整	都による 確 定 測 量、 払い 下げる協議	都による払 い下げ用地 の告示(法定 管理期間)・ 用地造成設 計委託	払い下げ、用 地造成工事 高齢者棟工事 請負契約	高齢者棟建設 工事
事業経費			2,508,000	77,492,000	90,000,000

(単位：円)

令和元年度 主な事業成果

1. 法人経営の原則

法人定款第3条

この法人は、社会福祉事業の主たる担い手としてふさわしい事業を確実、効果的かつ適正に行うため、自主的にその経営基盤の強化を図るとともに、その提供する福祉サービスの質の向上並びに事業経営の透明性の確保を図り、もって地域福祉の推進に努めるものとする。

上記定款第3条に規定されている原則に基づき、日常の法人業務運営及びハ王子美山学園の業務運営の円滑かつ適正な執行を図った。

[事業内容]

- (1) 第一種社会福祉事業 施設入所支援事業（ハ王子美山学園）
- (2) 第二種社会福祉事業 障害福祉サービス事業（生活介護）
- (3) 第二種社会福祉事業 障害福祉サービス事業（短期入所 ハ王子美山学園）
- (4) 第二種社会福祉事業 障害福祉サービス事業（共同生活援助・グループホーム 美山寮、山入寮）

2. 経営理念と基本方針

【理念】

私たちは、利用者ひとり一人の個性と人格を尊重し、利用者本位のサービスを提供するとともに、家族や地域との連携に努め、親しまれ信頼される施設をめざします。

【基本方針（目標）】

私たちは、常に専門的役割と使命を自覚し、利用者の自立と自己実現のために寄り添い、必要な支援を行います。

1. 利用者の尊厳を重んじた支援
2. ひとり一人にあった個別的な支援
3. 自分で選び、自分で決める利用者主体の支援
4. 社会の一員として地域の中で暮らすための支援

3. 理事会・評議員会等

(1) 法人の役員、評議員等

(令和元年7月1日現在)

役職名	定数	氏名
理事	7名	荒井 富雄、尾崎 正幸、小林 昭代、陣内 由晴、 谷口 健吉、原島 一、八木岡 英彦
監事	2名	小林 清、高岡 誠司
評議員	8名	井上 寛、内田 佳子、加藤 敏夫、佐野 貞大、 清水 朋子、西野 榮男、日吉 悅子、渕上 洋知
評議員選任・解任委員会委員	5名	大熊 誠、小林 清、田倉 聖一、塚本 直克 米山 節香
第三者委員	2名	内田 佳子、小林 清

五十音順、敬称略

(2) 理事会・評議員会の開催

改正社会福祉法に基づき、理事会は業務執行の意思決定機関として、評議員会は法人運営の重要な事項を審議する議決機関として、下表のとおり会議を招集し、適正に事案を処理した。

会議の開催状況

	令和元年度	平成30年度
理事会	6回	5回
評議員会	2回	3回

4. 主な施策の成果

(1) 新たな社会福祉法人制度への対応

ア 経営組織のガバナンスの強化

改正社会福祉法及び変更後の定款に基づく新たな経営組織として平成29年4月1日から始動し、業務及びチェック体制の強化を図った。

《理事会》

- ・法人業務の意思決定機関である理事会は、法改正に伴い7名構成により、毎回監事の同席を得て運営した。
- ・本年度は、議案20件を付議し、議決・承認を受け、2件の協議事項を審議した。また、法人の施設保全計画のほか、理事長専決事項及び理事長の職務執行状況等についての報告を行った。

《評議員会》

- ・法人の重要事項を決定する議決機関である評議員会は、評議員8名の構成により会議を運営した。
- ・本年度は、予算、決算及び事業計画並びに理事の選任について付議し、議決・承認を得たほか、事業報告及び法人の重要な計画等の報告を行った。

イ 事業運営の透明性の向上

平成29年4月1日からの改正社会福祉法の施行に伴い、財務諸表、現況報告書、役員等の報酬基準等について公表を行うとともに、法人事務所窓口に決算書類、定款、前年度の理事会・評議員会の運営状況等の書類を備え置き、閲覧請求に対応できるよう法人運営の透明性の向上を図った。

また、法人の規程や要綱等を掲載するなど積極的に情報提供を行い、透明性の向上に努めた。

ウ 社会福祉充実計画の推進

平成29年度に策定した5か年に亘る社会福祉充実計画に伴う高齢者棟整備に向け、元年度は廃河川敷の取得に向け東京都と調整を行い、東京都が廃河川敷の払い下げに向け「廃川告示」を行い、告示後の法定管理期間に入ったことを受け、高齢者棟整備に向け、建設用地の造成設計委託を行うとともに、地質調査のほか官公庁への施設整備に向けた手続の調整を行った。

〔実施計画〕

実施計画	2017	2018	2019	2020	2021
実施内容	東京都・八王子市との協議	廃河川敷払下げ、造成設計 上記繰延	廃河川敷払下げ、造成設計		建築工事 敷地造成工事 建築設計

エ 地域における公益的な取組について

社会福祉法人の責務として社会福祉法に規定されている「地域における公益的な取組」の一環として、地元町会及び地域内の社会福祉法人等で構成する「美山地域福祉連携会議」に参画し、地域高齢者を対象とした健康体操教室を毎月第4金曜日に開催したほか、地域の一人暮らし高齢者で

配食を希望する方への夕食のお弁当提供を週1回実施した。また、地域ニーズの把握や他法人の先進的取組などの情報収集に努め、更なる公益的な取組に向けた対応を模索した。

(2) 法人としての理念・基本方針、諸規程の遵守

法人の理念・基本方針について、毎朝実施している業務引継朝礼での音読や職員研修時において周知を図った。また、規程等の理解を深めるため職員への訓示等の際に説明を行うなど、周知と理解向上に努めた。

(3) 利用者支援

権利擁護の堅持に努めるとともに、防災訓練の実施、利用者の意向を尊重した個別支援計画の策定に向けた家族等との面談の実施、居住環境向上に向けた整備等を行った。また、利用者に好評な買物、外食などの余暇活動を実施したほか、やまゆりホールを利用した運動機能等体力維持活動や八王子市高齢者活動コーディネートセンターの協力による手品や楽器演奏・合唱を行うなど行事等の充実に努めた。

〈利用者の障害区分（各年度3月31日の状況）〉（生活介護事業）

	区分6		区分5		区分4		区分3	
	男	女	男	女	男	女	男	女
元年度	28人	25人	13人	8人	2人	13人	1人	1人
30年度	28人	25人	12人	8人	5人	12人	1人	2人

〈利用者の状況〉

	施設入所者 延利用日数	生活介護事業 延利用日数	短期入所事業 延利用日数	共同生活援助 延利用日数
	元年度	25,139日	23,345日	342日
30年度	27,946日	23,581日	331日	5,809日

(4) 健康管理

毎月1回嘱託医の往診を受け利用者の健康管理を行っているほか、必要な方には毎週訪問歯科診療による治療を行った。また、年2回健康診断を受け、利用者の健康管理や保健指導を行った。

施設内の感染防止のため、インフルエンザの予防接種や業者による消毒清掃を行い、2年継続して利用者のインフルエンザの感染者は発生しなかった。

(5) 生産活動の整備強化

リサイクル事業を継続するとともに、椎茸ときくらげの栽培を行い、ふくら亭での販売のほか、地域や近隣の行事等の際に販売をした。また、ふくら亭では、地域貢献の一環として、地元の方に浸透している地元野菜の販売を継続した。

(6) 給食委託業務の見直し及び委託先変更

給食調理業務委託契約が今年度で満了となることから、新たな委託先の選考業務を実施した。委託業務内容について、調理業務のみでの参入業者が限られていたことから、業者が参入しやすくするため、委託業務内容を食材の調達から調理までと拡大した。

業者選定にあたっては、公正を期すため説明会の開催をはじめ、参入意向のある業者からのプレゼンをもとに、法人内部に業者選定委員会を設置し、その結果、企画力が優れていた市内業者を選定した。

(7) 施設の改修、設備の改善

ア 施設建設後の経年劣化に伴い本館内の高圧受変電設備の更新工事を行った。工事中は本館内全館が停電するため、利用者への影響を極力少なくするために、前日から予備工事を行い、短時間で設備の切り替えができるよう業者と調整を行い、利用者への影響を最小限に留めることができた。

工事中は、利用者は行事日程を変更し、やまゆりホールでスイカ割りやバーベキューを楽しみ時間を過ごした。

イ 電話設備の交換

外線及び内線通話で活用している電話設備が老朽化したため交換工事を行った。電話設備は、非常時の一斉連絡が可能な設備であり、設備の機能が低下する前に業者と調整を行い、外部との連絡が途絶える時間を短くするよう配慮した、この工事に当たり、回線が一次不通となるため、施設利用者ご家族等への事前周知を行い混乱なく工事が完了できた。

ウ 洗濯室大型洗濯機及び大型乾燥機の交換

利用者の衣類等を洗濯するため毎日多量の洗濯物が出るが、そのための大型洗濯機及び大型乾燥機の修理部品の調達が難しくなってきたことから、故障する前に交換工事を実施した。

工 男性棟及び女性棟へは、ロールカーテンの設置や生活に影響する箇所の修繕等を行い利用者の居住環境の維持に努めたほか、各棟のパソコンの更新を行い、事務効率の維持向上に努めた。

また、食堂内の内壁パネルが湿気等によりゆがみが生じたことから、修繕を行い食堂の環境の維持に努めた。

オ 空き缶やペットボトルのリサイクル作業を行っている工場入口の側溝は、トラックやフォークリフトの重量の負荷により、亀裂等が生じ段差が生じたため、改修工事を実施し日中活動で通行する利用者の転倒防止等安全を確保した。

また、リサイクル工場のシャッターについては経年に伴い全開しなくなったことから交換工事を実施した。

カ 本館南側作業棟のトイレが長年の使用により、壁等が劣化し便器も設置当時のままで冬季には冷たく使用しにくいことから、トイレの全面改修を行い、壁や床の張替え、温水便座等への交換を行い、環境改善を図った。

キ 共同生活介護においては、シューズボックスの購入や利用者の活動記録のためにデジタルカメラの購入等を行った。また、パン工房では衛生上の観点から窓を開けずに作業を行うため、夏の作業が熱気により過酷となるため、エアコンを増設し環境改善に努めた。なお、パン工房で使用する配送料用車両がオイル漏れ等を頻繁におこすことから、急きょ更新を行った。

ク 利用者が行事等で利用するやまゆりホールは雨音が反響し、活動中の音声が聞きにくいことから、屋根の改修工事を行い防音効果を高め環境改善に努めた。また、厨房のドア交換工事等を実施し、衛生環境の改善のほか、新たな厨房機器を設置し給食調理環境の向上に努めた。

(8) 人事管理の充実

ア 人事考課と連動した昇任

前年度においては、キャリアアップの一環として新たな職位として副主任を創設した。今年度は、かねてから検討を進めてきた職員の業務に対する評価となる人事考課と連動し昇任試験を初めて実施し、意欲ある職員が自己実現できる体制を整備し実施に結びつけることができた。

なお、今年度は副主任に女性2名が合格した。

イ 支援員等の確保を図るため、ハローワークに通年求人募集を依頼したほか、東社協福祉人材センター・人材バンクへの登録、福祉職場合同面接会場でのブース設置などのほか、インターンシップ受け入れ事業所としての

登録を行った。また、実習生に対し積極的に職場PRを行ったほか、新たな職員確保に向け、就職準備金制度の創設を行った。

なお、前年度開催した定着率向上委員会の報告をもとに、職員一丸となって人材確保に取り組むこととし、従来活用していた新聞折込による求人募集については、費用対効果に疑問があることから、廃止した。

ウ 質の高いサービスが提供できるよう、介護福祉士等の資格取得を目指す職員を支援する目的で、法人独自の資格取得助成制度を創設し、引き続きヤル気ある職員の経済的な負担の軽減を図った。

職員の有資格者数（各年度当初）

	介護福祉士	社会福祉士	精神保健福祉士
30年度	35名	3名	1名
元年度	40人	2名	1名

エ 職員の勤務条件の改善を次のとおり行った。

- ①期末勤勉手当支給率の増
- ②職員待遇改善加算の実施
- ③特定待遇改善加算の実施
- ④永年勤続表彰の実施

10年勤続被表彰職員

	元年度	平成30年度
常用職員	1名	1名
有期雇用職員	3名	1名

オ 人事給与制度の適正運用について、課長以下全職員の人事考課を実施し、令和元年度6月期及び12月期の勤勉手当の成績率に反映させた。

(9) 財務管理

ア 新会計基準に基づく経理を適切に行い、顧問税理士による定期的な指導のもと適正な会計処理及び予算執行を行った。

イ 資金運用については、資金運用規程に則り、安全確実かつ効率的な運用を行うため、今年度は、理事会に諮りつつ運用効率が低い商品の運用見直しを行った。特に、今年度は円高に伴う為替相場の変動による影響を受け、米ドルの外国債券1件に対し証券会社からコールがかかった。また、豪ドルの外国債券については、円高による影響により運用利息が「0」円となり、今後の運用利息が見込めないことから、償還期限前に途中解約した。いずれの債券も運用利率が高く、かつ短期間となるよう資金運用先を変更したほか、他の保有する債券等については継続して運用を図った。

〈資金運用状況〉

	令和元年度	平成30年度
外国債券等	3億円	3億円
社 債	5千万円	5千万円

(10) 福祉サービス第三者評価の継続受審

利用者の満足度や職員の意識調査のほか、経営状況等を客観的に分析する第三者評価を生活介護・施設入所支援においては13年連続で受審した。また、短期入所の第三者評価を初めて受審し、サービスの質の向上と事業の透明性の確保に取り組んだ。

(11) 非常時対策

避難訓練に合わせ災害備蓄品を活用した給食体験を実施したほか、断水・停電に備えた濾水機や発電機の操作訓練等を実施した

また、災害等避難時に備え防災ヘルメットを追加購入するとともに、夜間に両手を使えるようヘッドライトランプを購入するなど災害対策を強化したほか、食料等備蓄品の更新を行った。

(12) 消費税への対応

10月から消費税が10%となり、食料品には軽減税率が適用となった。このため、ふっくら亭では店内飲食と持ち帰りでは、適用税率が異なることになるが、利用者の混乱を防止するため、同一価格を設定した。

消費税増額に伴い、キャッシュレス化への対応の動きがあったが、ふっくら亭の対応として、地域性や利用者の動向を踏まえ従来どおり現金のみの対応とした。

5. 職員数の状況

〈障害者支援施設〉(施設入所、生活介護、短期入所) (単位:人)

区分	令和2年3月31日			平成31年3月31日			比較		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
正規職員	20	22	42	19	21	40	1	1	2
再雇用職員	0	1	1	0	2	2	0	-1	-1
有期契約職員	13	32	45	14	28	42	-1	4	3
合計	33	55	88	37	52	89	0	4	4

〈共同生活援助事業〉

(単位：人)

区分	令和2年3月31日			平成31年3月31日			比較		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
正規職員	1	1	2	1	1	2	0	0	0
有期契約職員	3	14	17	3	15	18	0	-1	-1
合計	4	15	19	4	16	20	0	-1	-1

※有期契約職員の内4名は障害者支援施設と兼務

6. 虐待防止委員会の開催

利用者の人権を保護し、健全な支援を提供するために虐待防止対応規程に定める虐待防止委員会を毎月定例的に開催し、職員アンケート結果の分析など虐待防止に向けての検討や周知啓発を行った。また、苦情受付や虐待発生の事案はなかったが、虐待発生時の迅速な改善策の一つとして設置している、第三者委員会を開催し、虐待防止策の取組み状況等の確認を行った。

〈虐待防止委員会等の開催状況〉

	令和元年度	平成30年度
虐待防止委員会	12回	12回
第三者委員会	1回	1回

7. その他

- (1) 令和2年2月ころからの新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、人々の活動の自粛が求められ、当施設でも行事等の変更を余儀なくされるとともに、来年度の利用者個別支援計画の策定に当たっては、ご家族を交えての個別面談ができなくなったため、書面等による意思疎通を図り、策定した。
- (2) 八王子市の業務監査が行われ、法人の経理及び運営に関する指摘事項はなかった。

令和元年度 事業実績

1. 事業運営

事業種別	事業内容
第1種社会福祉事業	障害者支援施設の経営 ハ王子美山学園（定員80名）
第2種社会福祉事業	障害福祉サービス事業の経営 ハ王子美山学園 生活介護（定員80名） ハ王子美山学園 短期入所（定員4名） 共同生活援助 ハ王子美山学園 美山寮（定員10名） ハ王子美山学園 山入寮（定員6名）

2. 理事会・評議員会の開催

(1) 理事会の開催

第1回理事会 6月5日（水）	第1号議案	平成30年度事業報告の承認について	承認
	第2号議案	平成30年度計算関係書類等の承認について	承認
	第3号議案	理事候補者の推薦について	可決
	第4号議案	監事候補者の推薦について	可決
	第5号議案	評議員会招集事項の決定について	可決
	報告事項	やまゆりプランの進行管理について	
		施設保全計画について	
		承認社会福祉充実計画の変更に係る届出について	
		理事長専決事項について	

第2回理事会 6月26日（水）	第6号議案	理事長の互選について	原島理事 を選定
	第7号議案	経理規程の一部改正について	可決
	第8号議案	資金運用規程の一部改正について	可決
	協議事項	資金運用方法の見直しについて	
第3回理事会 9月11日（水）	報告事項	理事長の職務執行状況報告について 廃河川敷地下げに関する東京都の告示について ふっくら亭における軽減税率への対応について 非常勤職員の時間給の引き上げについて 利用者の転倒事故報告について 理事長専決事項について	
	第9号議案	給与規程の一部改正について	可決
	第10号議案	有期契約職員就業規則の一部改正について	可決
第4回理事会 11月13日（水）	報告事項	債権の運用について 高齢者棟整備に向けての取組みについて 東社協会長表彰の内定について 地域貢献事業（配食）の開始について 理事長専決事項について	
	その他 (協議)	令和2年度給食サービス提供業務委託契約の見直しについて	
第5回理事会 1月22日（水）	第11号議案	給食業務委託業者の決定について	可決
	報告事項	八王子市の指導検査結果について（法人経営） 館内事故について 理事長専決事項について	
	その他	東社協「社会福祉施設役職員功労者」表彰受賞報告について	
第6回理事会 3月11日（水）	第12号議案	令和元年度補正予算について	可決
	第13号議案	令和2年度事業計画について	可決
	第14号議案	令和2年度予算について	可決

第6回理事会 3月11日(水)	第15号議案	給与規程の一部改正について	可決
	第16号議案	常用職員就業規則の一部改正について	可決
	第17号議案	有期契約職員就業規則の一部改正について	可決
	第18号議案	令和2年度業務継続契約について	可決
	第19号議案	令和2年度LPGガス供給継続契約について	可決
	第20号議案	評議員会招集事項の決定について	可決
	報告事項	理事長の職務執行状況について	
		資金運用について	
		就職準備金制度の創設について	
		第三者評価の結果について	
		八王子市の指導検査結果について（共同生活援助事業）	
		再雇用職員の課長就任について	
		評議員の表彰について	
		理事長専決事項について	

(2) 評議員会の開催

第1回評議員会 6月26日（水）	第1号議案	平成30年度計算関係書類及び財産目録の承認について	承認
	第2号議案	理事の選任について	可決
	第3号議案	監事の選任について	可決
	報告事項	平成30年度事業報告について	
		やまゆりプランの進行管理について	
		施設保全計画について	
		承認社会福祉充実計画の変更に係る届出について	
第2回評議員会 3月25日（水）	第4号議案	令和元年度補正予算について	承認
	第5号議案	令和2年度事業計画について	承認
	第6号議案	令和2年度予算について	承認
	報告事項	資金運用について	
		第三者評価の結果について	
		ハ王子市の指導検査結果について	
		給食業務委託先の変更について	
		再雇用職員の課長就任について	
		高齢者棟整備に向けての取組について	
	その他	評議員の勤続表彰について	

3. 施設利用状況

(1) 障害者支援施設八王子美山学園

区市町村別利用状況

(単位 人)

区市町村	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
中央区	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
台東区	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1	22
墨田区	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	36
江東区	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
目黒区	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
大田区	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	5	49
世田谷区	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
杉並区	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
豊島区	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
北区	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	36
荒川区	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
板橋区	8	8	8	8	8	7	7	7	7	7	7	7	89
練馬区	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60
足立区	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	48
葛飾区	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
江戸川区	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	36
八王子市	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	240
武蔵野市	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
青梅市	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
府中市	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
昭島市	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
町田市	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
小平市	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
東大和市	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
清瀬市	1	1	1	1	1	1	1						7
武蔵村山市	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
稻城市	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
あきる野市	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
西多摩郡瑞穂町	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
さいたま市	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
合 計	78	78	78	78	78	77	77	76	76	76	75	76	923

(2) 障害程度区分別利用者状況（施設入所支援事業）

(単位 人)

区分	性別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
区分6	女性	24	24	24	24	24	24	25	25	25	25	24	24
	男性	27	27	27	27	27	26	26	25	25	25	26	26
区分5	女性	8	8	8	8	8	8	7	7	7	7	7	8
	男性	11	11	11	12	12	12	12	12	12	12	11	11
区分4	女性	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
	男性	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1
区分3	女性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	男性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
女性		38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	37	38
男性		40	40	40	40	40	39	39	38	38	38	38	38
合計		78	78	78	78	78	77	77	76	76	76	75	76

(3) 障害程度区分別利用者状況（生活介護事業）

(単位 人)

区分	性別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
区分6	女性	25	25	25	25	25	25	26	26	26	26	25	25
	男性	29	29	29	29	29	28	28	27	27	27	28	28
区分5	女性	8	8	8	8	8	8	7	7	7	7	7	8
	男性	12	12	12	13	13	13	14	14	14	14	13	13
区分4	女性	12	12	12	12	12	12	13	13	13	13	13	13
	男性	4	4	4	3	3	3	2	2	2	2	2	2
区分3	女性	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1
	男性	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
女性		47	47	47	47	47	47	47	47	47	47	46	47
男性		46	46	46	46	46	45	45	44	44	44	44	44
合計		93	93	93	93	93	92	92	91	91	91	90	91

(4) 短期入所事業（美山学園）

区市町村別利用状況

(单位 人)

区市町村	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
墨田区								5	7	11			23
大田区	9	17	8	16			28		23				101
中野区	12												12
八王子市		7	4	11	7		13	4					46
武藏野市		7		8		28		8	7	7	6		71
三鷹市	5	7			11								23
瑞穂町								5					5
相模原市	8	6	8	7		6	6		7	8	5		61
合計	34	44	20	42	18	34	47	22	44	26	11	0	342

(5) 共同生活事業

山入寮

(单位 人)

美山寮

(单位 人)

4. 人員配置

(1)障害者支援施設八王子美山学園(施設入所支援事業・短期入所事業及び生活介護事業)

(単位 人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
施設長	常勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
事務	常勤	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
	有期契約	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
サビ管	常勤	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
生活支援員	常勤	34	35	34	35	33	33	33	33	33	33	33	33
	有期契約	41	41	42	42	41	41	41	41	43	43	43	43
看護師	常勤	1	1	1	2	3	3	3	3	3	3	3	3
	有期契約	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1
栄養士	再雇用	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	有期契約	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
常勤合計		41	42	41	43	42	42	42	42	42	42	42	42
再雇用合計		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
有期契約合計		42	42	43	44	43	43	43	43	45	45	45	45
総合計		84	85	85	88	86	86	86	86	88	88	88	88

(2)障害者支援施設直接処遇職員常勤換算数

(単位 人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
生活支援員	常勤	34	35	34	35	33	33	33	33	33	33	33	33
	有期契約	30.5	30.5	31.5	31.5	30.5	30.5	30.5	30.5	32.1	31.9	31.9	32.1
看護師	常勤	1	1	1	2	3	3	3	3	3	3	3	3
	有期契約	0	0	0	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6
常勤換算合計		65.5	66.5	66.5	69.1	67.1	67.1	67.1	67.1	68.7	68.5	68.5	68.7

(3)障害福祉サービスハ王子美山学園(共同生活援助事業 美山寮・山入寮)

(単位 人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
施設長	常勤	兼務											
事務	常勤	兼務											
サビ管	常勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
世話人・ 生活 支援員	常勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	有期契約	18	18	18	19	19	19	19	18	18	18	18	17
看護師	常勤	兼務											
	有期契約	兼務											
栄養士	常勤	兼務											

5. 支援業務

(1) 個別支援計画の策定

元年度個別支援計画を元に策定委員会が原案を策定し、利用者の希望やご家族の意見を聞き、2年度個別支援計画を策定した。

- ・元年度においては、コロナウィルス感染症予防の為、ご家族との意見交換については、書面等により行った。
- ・策定書類（フェイスシート、元年度個別支援の評価、2年度支援計画、アセスメントシート）

(2) 日常生活支援

(単位 人)

介助種別	食事	排泄	入浴	着脱衣	整容	移動	生活環境整備	投薬	洗濯	水分補給
一部介助	12	40	15	18	3	12	13	0	5	13
全部介助	11	8	58	20	70	3	60	73	68	10
計	23	48	73	38	73	15	73	73	73	23

※ 整容とは「洗顔・髪梳き・髭剃り・歯磨き・爪切り・耳掃除・理美容等」、

生活環境整備とは「リネン交換・居室の整理整頓・室温管理等」を指す。

(3) 日中活動支援

(2.3.31 現在)

種 別	活動内容	活動場所	参加利用者数(人)			備考
			男	女	計	
生活介護事業	あゆみ	やまゆりホール・園内	2	6	8	
	A運搬	やまゆりホール・園内	12	5	17	
	B運搬	園内	5	5	10	
	ラベル班	園内作業棟	3	5	8	
	受注作業	園内作業棟	2	0	2	
	キヤップ班	園内作業棟	10	4	14	
	キヤップ選別作業	やまゆり作業場	0	12	12	
	軽運動	多目的室	5	7	12	
	洗濯・清掃	本館内	1	2	3	
	分別作業	リサイクル場	3	0	3	
	製パン	工房	1	2	3	
		店舗		1	1	
計			44	49	93	延べ人数
日中活動日帰り旅行	10月3日 山梨県：河口湖オルゴールの森美術館				14名	
日中活動一泊旅行	6月13日～14日 千葉県：マザー牧場・小湊鯛の浦温泉 鴨川ホテル三日月 11月7日～8日 栃木県：日光江戸村・鬼怒川ライン下り・宇都宮餃子	マザー牧場・小湊鯛の浦温泉鴨川ホテル三日月 ：26名 日光江戸村・鬼怒川ライン下り・宇都宮餃子 ：24名				





運動療法



キャップ班



軽運動班

(4) 余暇活動支援（外出・買物・行事・旅行・イベント等）

（単位 人）

余暇活動の種類	時期・回数	参加利用者数
外食・買物	月4・5回程度	希望者
散歩・買物（近隣商店）	毎週土曜・日曜日	希望者 月平均 160
ふっくら亭喫茶	毎週土曜・日曜日	希望者 月平均 180
DVD・ビデオ鑑賞	毎週土曜・日曜日	希望者 月平均 180
ドライブ（ドライブ先での散歩）	毎週土曜・日曜日	希望者 月平均 120
学園主催行事	お花見会	4月 全利用者
	一泊旅行	6月 26
	バーベキュー すいか割り	9月 85
	やまゆり祭り	9月 台風のため中止
	日帰り旅行	10月 14
	一泊旅行	11月 24
	クリスマス会	12月 79
	忘年会	12月 全利用者
	新年会	1月 全利用者
福祉関係・地域行事・その他		月1回程度 希望者等
イベント企画	相撲観戦	4月 7
	多摩動物公園	5月 10

イベント企画	ららぽーと買物	7月	8
	バーベキュー・ピザ作り	9月	6
	ホテルバイキング	10月	6
	秩父鉄道SLの旅	10月	9
	イチゴパーティー	3月	8



(5) 共同生活余暇活動

(単位 人)

余暇活動の種類	時期・回数	参加利用者数	
外食・買物	山入寮 年3回 美山寮1F 年3回 美山寮2F 年3回	全利用者	
イベント企画	お花見	4月	全利用者
	日帰り旅行 (藤子不二雄ミュージアム)	5月	4
	イベント企画 (タヤケリヤケルレアイノリ)	6月	6
	日帰り旅行 (工場見学シャトレーゼ)	7月	7
	イベント企画 (ぶどう狩り)	9月	① 5 ② 5 ※2回に分けて実施
	日帰り旅行 (お台場)	10月	4
	イベント企画 (イルミネーション・ホテルバ イキング)	12月	3
	忘年会	12月	全利用者



タヤケリヤケルレアイノリ



藤子不二雄ミュージアム



ぶどう狩り



お台場



イルミネーション



外食

6. 給食業務

(1) 障害者支援施設

	<p>○1日3食・毎日提供 【食事時間】朝食：07:30～09:30 昼食：11:30～13:30 夕食：17:30～19:30</p>		
給食提供形態	<p>○食事の提供に当たっては、利用者の心身の状況及び嗜好を考慮し、上記の時間に食事の提供を行うとともに、利用者の年齢及び障害の特性に応じた、適切な栄養量及び内容の食事の提供を行うため、常勤の管理栄養士を配置し、必要な栄養管理を実施</p> <table border="1"> <tr> <td>令和2年3月末現在</td><td>ざく切り14人・軟らか食10人・ペースト食2人 糖尿食等5人</td></tr> </table>	令和2年3月末現在	ざく切り14人・軟らか食10人・ペースト食2人 糖尿食等5人
令和2年3月末現在	ざく切り14人・軟らか食10人・ペースト食2人 糖尿食等5人		
	<p>○補助食は実費負担により提供</p> <table border="1"> <tr> <td>令和2年3月末現在</td><td>牛乳7人・ヨーグルト等9人・納豆6人・パン2人</td></tr> </table>	令和2年3月末現在	牛乳7人・ヨーグルト等9人・納豆6人・パン2人
令和2年3月末現在	牛乳7人・ヨーグルト等9人・納豆6人・パン2人		
給食費	月額約43,000円利用者負担。補助食は実費負担		



宅配寿司



おにぎりバイキング



パンバイキング



行事(ひなまつり)



出張寿司(新年会)



お正月(おせち)

(2) 共同生活事業

給食提供形態	<p>○1日2食(朝・夕)毎日提供 ○土日の昼食 まごころ食材サービス ○タイハイ株式会社のクッキングデポを導入した。</p>
給食費	実費負担

7. 健康管理業務

医療体制 健康管理	<ul style="list-style-type: none"> ○嘱託医（恩方病院長）による毎月1回の精神科往診の実施 ○ながやまクリニックによる毎月1回の往診 ○下記近隣医療機関と連携した入院・通院 <ul style="list-style-type: none"> ・入院 4人 延309日 ・通院 279人 月平均23人 ・往診月平均40人 	
	診 療 科 目	医 療 機 関
	精 神 科	恩方病院・ながやまクリニック
	内 科	恩方病院・八王子北部病院・緒方内科
	外 科	高山外科眼科医院・八王子山王病院・右田病院・南多摩病院・多摩総合医療センター
	脳 神 経 外 科	北原国際病院・東京天使病院
	整 形 外 科	八王子山王病院・八王子北部病院
	皮 膚 科	恩方病院皮膚科・ゆき皮膚科
	眼 科	恩方病院・高山外科眼科医院
	歯 科	もとえデンタル歯科（往診）・八王子メディカル歯科
	耳 鼻 科	元八王子耳鼻科・三木耳鼻科
	緊 急 時	救急車対応 恩方病院・八王子医療センター・右田病院・都立松沢病院・南多摩病院・多摩総合医療センター
	婦 人 科	西島婦人科・青梅市立総合病院
	泌 尿 器 科	中野間クリニック・八王子医療センター
<ul style="list-style-type: none"> ○ インフルエンザ、ノロウィルス等防止のため、業者による棟内・ロビー・食堂等の消毒清掃実施 ○ 年2回の健康診断の実施（5月・10月） ○ 看護師・スタッフの連携による健康管理・指導 ○ 定時薬・臨時薬の準備と保管及び服用管理 ○ 管理栄養士による食事管理 ○ 寝具類の乾燥 ◎ 今期はインフルエンザの発症者はいなかった。 		

8. 施設設備管理業務

施設設備の修理・工事	<ul style="list-style-type: none"> ・美山学園高圧受変電設備更新・改修工事 ・やまゆりホール屋根改修工事 ・美山学園電話設備更新工事 ・洗濯機・乾燥機更新工事 ・厨房押しこれカビ防止工事 ・男性棟トイレドア改修工事 ・リサイクル作業場U字溝改修工事 ・本館北側U字溝漏水工事 ・電気錠取り換え工事 ・ふっくら亭テラス雨漏り工事 ・本館食堂壁改修工事 ・作業棟1・2階トイレ改修工事 ・本館東側庇設置工事 ・厨房内出入口改修工事
施設設備の保守点検委託業務	<ul style="list-style-type: none"> ・エレベーター（リモート点検毎月、技術員点検4回、法定検査1回）美山寮含む ・防災設備（法定点検2回）美山寮含む ・空調設備（法定点検4回） ・大型洗濯機・乾燥機（保守点検3回） ・ガス発電機（パリケ）保守点検1回 ・ボイラー（保守点検1回） ・電気設備（法定点検6回） ・パソコン管理業務委託 ・建物設備定期検査（法定検査1回）
施設設備の管理業務	<ul style="list-style-type: none"> ・棟内清掃（毎週月～金） ・害虫駆除（本館・厨房・作業棟一2回、パン工房一毎月1回） ・廃棄物処理（毎週3回） ・感染症予防対策消毒清掃（年1回）



9. 安全対策

(1) 防災訓練

実施日	訓練概要	備考(訓練内容)
4月 8日	日中想定による火災避難訓練	日中の火災を想定し グループホーム利用者も対象とする火災避難訓練
5月13日	夜間想定の火災避難訓練	夜間を想定した火災避難訓練で、職員4人による初動から避難誘導・点呼までの訓練
6月10日	日中想定による火災避難訓練	日中の火災を想定した避難訓練
6月21日	防災教育・機器使用訓練（水消火器、本館消火栓、浄水装置、発電機等の操作法指導研修）	消防署から水消火器を借り、新人職員等未経験者を中心に初期消火訓練実施、また、防災設備会社の指導により、本館消火栓を実際に使用した放水訓練実施。併せて、浄水装置・発電機の操作法訓練
7月 8日	夜間想定による震災避難訓練	夜間を想定した震災に対する訓練で、職員4人で初動待機から避難誘導・点呼までの訓練
8月 5日	日中想定による土砂災害避難訓練(垂直避難訓練)	日中を想定した土砂災害に対する避難訓練で、1階から2階への垂直避難訓練
9月 2日	日中想定による火災避難訓練 炊き出し訓練	日中の火災を想定し、グループホーム利用者も対象とする火災避難訓練、終了後、非常食による炊き出し訓練を実施
9月14日	美山町会の地域合同自主防災訓練参加（防災委員及び担当職員）	美山小学校と町会・施設及びハ王子消防署による合同防災訓練
10月7日	日中想定による火災避難訓練	日中の火災を想定し、グループホーム利用者も対象とする火災避難訓練、棟内に残る利用者を無くす事を目標に全職員で避難に当たる。
11月11日	夜間想定による火災避難訓練	夜間を想定した火災避難訓練で、職員4人による初動から避難誘導・点呼までの訓練
11月22日	災害活動相互応援協定による防災訓練 当番施設：多摩藤倉学園	今回は通常の避難訓練ではなく、洪水・土砂災害を想定した机上訓練を実施。美山町会と地域内11施設による土砂災害の発生を想定したグループワークを実施
12月 9日	日中想定による火災訓練	日中の火災を想定し、グループホーム利用者も対象とする火災避難訓練、ベッド避難者0人を目標に全職員で避難に当たる。
1月 7日	夜間想定による土砂災害の避難訓練	夜間を想定した土砂災害に対する避難訓練で、1階から2階への垂直避難訓練を実施、職員4人で点呼まで行う。
2月18日	日中想定による震災避難訓練	日中を想定した震災に対する訓練で、グループホーム利用者も対象とし、初動待機から避難誘導・点呼の訓練
3月18日	夜間想定による火災訓練	夜間を想定した火災避難訓練で、職員4人による初動から避難誘導・点呼までの訓練

- ◎ 9月14日の美山町会の地域合同自主防災訓練に防災委員と美山寮担当係長が参加
- ◎ 11月の「災害活動相互応援協定による防災訓練」では、今回、通常の避難訓練はせず、台風被害を課題として、美山地域の施設の多くは土砂災害警戒区域にあるため、美山町会と近隣11施設による土砂災害を想定した机上訓練を実施。グループワークにより、施設周辺のリスクや台風19号の際、施設が実際とった対策などを話し合い情報共有した。
- ◎ 勉強会の一環として、水消火器使用による初期消火訓練、消防設備保守会社による本館消火栓を使用した放水訓練、メーカーの営業マンによる自家発電機及び浄水装置の使い方の操作指導訓練を6月の勉強会に実施。
- ◎ 消防署によるAED 及び 救急救命講習を1月17日実施



(2) 非常食の備蓄

100食×7日分	朝 食	昼 食	夕 食
1・5日目	パン缶詰め・スープ フルーツミックス缶	白飯・和風ハンバーグ	山菜おこわ・肉じゃが
2・6日目	赤飯・焼き鳥缶 きのこご飯・焼き鳥缶	わかめうどん・ポテトサラダ	五目ご飯・牛すき焼き缶 五目ご飯・牛肉大和煮缶
3・7日目	わかめご飯・鉄板焼き肉缶	白飯・LLヒートレスカレー	ひじきご飯・おでん ひじきご飯・鶏の旨煮缶
4日目	白飯・肉じゃが		白飯・牛丼の素パック

※ やわらか食用：白がゆ（個別パック）・ふっくら梅がゆ・鶏そぼろ缶、すき焼きパック、トロミ剤

◎ 非常用保存水 2リットルペットボトル×51C/S = 306本 （自家発電機・浄水装置整備あり）

- ◎ やまゆりホール横の防災用品倉庫に、上記非常食のほか、炊き出し用卓上ガスコンロ15個、ガスボンベ40本、アルミ大鍋、バケツ、チャッカマン、手指消毒用アルコール・スプレー・ボトル、キッチン鋸、箸、スプーン類、紙コップ、発泡容器、ラップ・アルミ類、食事用トレー100枚、キッチンペーパー、ゴミ袋類、処置手袋、寝袋、毛布80枚、衣類・古着、タオル100枚（圧縮して保管）、非常用トイレ50個、オムツ、生理用品、懐中電灯、乾電池、灯油ストーブ、等常時完備。

(3) 共同生活避難訓練

実施日	訓練内容	備考
4月26日	美山寮 通常避難訓練	避難訓練後、外食を楽しむ
6月19日	山入寮 通常避難訓練	〃
6月29日	美山寮 通常避難訓練	〃
8月17日	山入寮 通常避難訓練	〃
8月30日	美山寮 通常避難訓練	〃
10月14日	美山寮 通常避難訓練	〃
11月19日	山入寮 通常避難訓練	〃
1月28日	山入寮 通常避難訓練	〃
12月19日	美山寮 通常避難訓練	〃
2月26日	美山寮 通常避難訓練	〃
3月1日	山入寮 通常避難訓練	〃

10. ボランティアの受入

日中活動 (マジックショー等)	八王子市高齢者コーディネートセンター わくわく元気マジック 10回(月1回) 延78名
--------------------	--



11. 実習生・介護体験の受入

受 入 学 校 名	期 間	人 数
実 習 生	貞静学園短期大学	5月 20日 ~ 5月 30日
	大原簿記公務員医療福祉保育専門学校	6月 3日 ~ 6月 13日
	竹早教員保育養成所	7月 1日 ~ 7月 13日
	聖徳大学	8月 5日 ~ 8月 16日
	武藏野短期大学	8月 19日 ~ 8月 31日
	こども教育宝仙大学	9月 2日 ~ 9月 14日
	東京純心大学	9月 16日 ~ 9月 28日
	聖徳大学	12月 25日 ~ 1月 8日
	和泉短期大学	1月 16日 ~ 1月 28日
	武藏野大学	2月 3日 ~ 2月 15日
	目白大学	2月 17日 ~ 2月 29日
	聖徳大学	3月 5日 ~ 3月 15日
	日本児童教育専門学校	3月 16日 ~ 3月 28日
	合 計 11 校	25名
受 入 学 校 名	期 間	人 数
介護体験生	中央大学 令和元年8月~10月にかけて 11回に分け受入	15名

12. 施設見学の受け入れ

入所希望者	本入所 及び 短期入所希望者（本人及び家族等） 合計14名
就職希望者	8名
他施設等職員	3名（美山保育園）
その他（行政等）	行政関係：1名、 リサイクル関係：6名

13. 職員研修

(1) 施設内研修

実施日	研修内容	対象者	備考(講師・参考資料等)
4月18日	書類作成(決裁書等)について	全支援員	支援係長 グループワーク 参考資料:「決裁をあげる手順・事例」冊子
5月17日	美山学園が求める支援員の行動規範について	全支援員	施設長 参考資料:「美山学園が求める支援員の行動規範」
6月21日	防災関係機器の取り扱いについて	全職員	業者・防災委員・日浦支援員 参考資料:「消火栓の使い方」
7月19日	障害者の虐待防止について	全職員	外部講師:小原俊治 参考資料:「障がい者の虐待防止」
8月30日	積立NISAについて	全職員	野村証券株式会社:ウェルスパートナー課課長 参考資料:「野村の職場積立NISAのご案内」
8月30日	情報公開と個人情報保護について	全職員	塚本事務局長 参考資料:「情報公開と個人情報保護」
8月30日	意思決定支援について	全支援員	早坂支援員・岸本支援員 参考資料:「知的障害支援者専門研修会」
10月18日	障害者支援における基本的業務について	全支援員	外部講師:東洋大学 関屋光泰 参考資料:「障害者福祉施設の新人職員等基礎研修」
11月15日	やまゆりプラン・施設保全計画について	全職員	理事長 参考資料:「やまゆりプラン施設保全計画」「やまゆりプラン進行管理表」
1月17日	救急救命講習 心臓マッサージとAED講習	全職員	八王子消防署予防課 3名
2月13日	育児・介護について	全職員	本部長 参考資料:「育児・介護の支援ガイドブック」
2月13日	老後の資金積立iDeCoについて	全職員	みずほ銀行2名 参考資料:「税金を知って賢い老後の資産作り」

◎ 令和元年度も、施設内における研修(勉強会)に力を入れた。

(2) 施設外研修・行政説明参加

研修内容	主催	参加者及び 参加者人数
令和元年度障害者虐待防止法研修	八王子市障害者福祉課	女性支援員 1名 男性支援員 1名
令和元年度東京都強度行動障害支援者養成研修 (実践研修)	東京都福祉保健財団	女性主任 1名 男性主任 1名
令和元年度社会福祉事業従事者人権研修	東京都福祉保健局	女性支援員 2名
令和元年度中堅職員研修(キャリアパス対応生涯研修)	東京都社会福祉協議会	女性支援員 1名 男性支援員 1名
令和元年度チームリーダー研修(キャリアパス対応生涯研修)	東京都社会福祉協議会	男性主任 1名
令和元年度虐待防止・権利擁護研修	東京都社会福祉協議会	女性支援員 2名
2019年度知的障害者支援者専門研修会	国立障害者リハビリテーションセンタ 一	女性支援員 1名 男性支援員 1名
福祉従事者研修	福祉経営ネットワーク	男性副主任 1名
中堅職員重点テーマ強化研修	東京都社会福祉協議会	男性支援員 1名
施設見学・学習会	東京都社会福祉協議会	女性支援員 1名
知的発達障害部会 令和元年度学習会	東京都社会福祉協議会	課長 1名
2019年度定期総会第2部研修会	NPO 法人東京都発達障害支援協会	女性係長 1名
全国知的障害関係施設長等会議	日本知的障害者福祉協会	施設長
知的発達障害部会 共生社会研究特別委員会第5回研修会	東京都社会福祉協議会	施設長
令和元年度知的発達障害部会総会	東京都社会福祉協議会	施設長
障害者グループホーム従事者基礎研修	東京都手をつなぐ育成会	男性支援員 1名
令和元年度全体会および研修会	東京都社会福祉協議会	女性係長 1名
グループホーム世話人等研修会	東京都社会福祉協議会	女性係長 1名
八王子市障害者グループホーム連絡会	八王子市障害者地域自立支援協議会	女性係長 1名
営業許可更新に伴う衛生講習会	八王子市保健所	パン工房男性主任 1名
HACCP 講習会及び食品表示講習会	八王子市保健所	パン工房男性主任 1名
平成31年度第1、2回特定給食施設栄養管理講習会	八王子市保健所	管理栄養士 1名
食品衛生法改正HACCPの義務化研修	八王子市保健所	管理栄養士 1名
令和元年度第3回特定給食施設栄養管理講習会	八王子市保健所	管理栄養士 1名
令和元年度情報交換会	八王子市保健所	管理栄養士 1名
南多摩地域栄養士協議会	南多摩地域栄養士協議会	管理栄養士 1名
令和元年度学習会	知的発達障害部会	管理栄養士 1名
合同講習会	食に関する危機管理連携会	管理栄養士 1名

14. 会議の開催

会議名	主宰者	開催回数
理事と家族会との連絡協議会	理事会・家族会	年1回
運営連絡会議	理事長	毎月1回
虐待防止委員会	委員長【施設長】	毎月1回
施設入所支援会議	施設長	毎月1回実施
グループホーム会議	施設長・担当係長	毎月1回実施
安全衛生委員会	施設長・産業医	毎月1回実施
男・女各棟会議	主任	毎月1回実施
個別支援計画委員会	委員長【施設長】	毎月1回実施
ケース会議	委員長【施設長】	毎月1回実施
リスク委員会	委員長【施設長】	毎月1回実施
防災委員会	施設長・防火管理者	必要時
資金活用検討会	理事長	必要時
職員定着率向上対策検討会	本部長	必要時
栄養ケア委員会	管理栄養士	2ヶ月に1回実施
世話人話し合い	共同生活係長	年2回

15. 財務・事務管理

情報公開・開示	当法人の情報公開・開示規程を遵守し、ホームページにより法人情報は原則公開したほか、年2回（4月・12月）、機関紙「やまゆり通信」を発行
個人情報保護	当法人の個人情報保護規程に基づき、利用者等関係者の個人情報保護に努めた。
苦情対応	当法人の苦情対応規程に基づき、利用者等の苦情に迅速に対応する態勢を維持した。
契約の公正・透明性の確保	随意契約については原則、見積もりを徴し、契約の公正性と透明性の確保に努めた。
事務管理の適正化	文書管理規程・法人印章規程・会計規程に基づき事務処理を実施
第三者評価	外部評価機関による福祉サービス第三者評価を美山学園施設入所支援事業は13年連続で受審、短期入所事業は初めて第三者評価を受審し、サービス向上の成果が評価された。 結果は東京都及び本法人のホームページに掲載

16. 地域貢献

美山地域福祉連携会議	美山町会及び八王子市と美山地域内の7社会福祉法人による福祉連携会議参画
配食・安否確認サービス	美山地域福祉連携会議に基づく独り暮らしの地域高齢者への安否確認を兼ねた配食サービスを実施
健康体操＆茶話会	美山地域福祉連携会議に基づき、毎月1回（第4金曜日） 町会の方を対象に健康づくり体操＆茶話会を実施（送迎有） ※ 毎月第2金曜日は他施設が持ち回り実施
やまゆりホール貸出し	美山町会定時総会、美山保育園、美山地域福祉連携会議
マイクロバス貸出し	町会行事にマイクロバス貸出し